贈りたい一冊

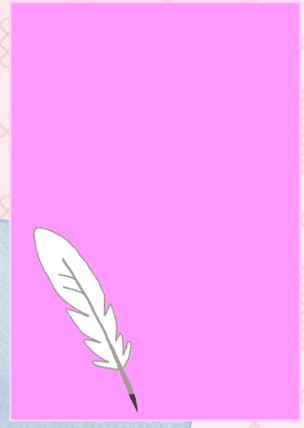
誕生日や進学のお祝い、ちょっとした贈り物など
誰かを思い浮かべて選ぶ本はちょっとトクベツ。
今回は、図書館へゆこう!!2025 年の催し
「本のバトン～おすすめの本を交換しませんか～」
とコラボした特別企画♪
職員が選ぶ「贈る本」を紹介します。

※「本のバトン～おすすめの本を交換しませんか～」の
詳細は、チラシをご覧ください。

『手紙屋』
喜多川　泰／著
ディスカヴァー・トゥエンティワン
【 914.6 キ 】

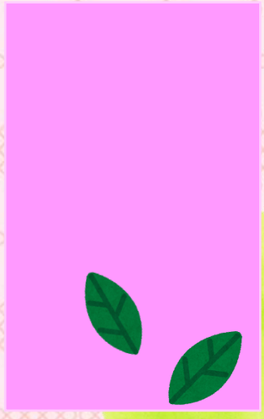
就職活動を始めたばかりの諒太は手紙屋と出会います。過去の経験や知識から十通の手紙のやり取りを通じ、実現したいことを叶えるためのアドバイスをくれるという手紙屋。最初は半信半疑のやり取りでしたが、手紙に書かれたメッセージは時に厳しく時に優しく心に響いていきます。

手紙は諒太に向けて書かれたものですが、多くの人にも通じるものばかり。〝これから〟を悩んでいる人にぜひ読んでいただきたい一冊です。(H)



『さみしい夜にはペンを持て』
古賀　史健／著　ならの／絵
ポプラ社 【 YA 159.7 コ 】

主人公のタコジローは悩み多き中学生。自分の気持ちと向き合ったり、悩み事を切り分けて整理することは難しいものですが、とある出会いから日記を書くことの面白さや意味を知ることになります。中高生から読める、わかりやすく優しい言葉で物語が紡がれていますが、「考える」「書く」ことの本質に迫った大人にこそ読んで欲しい 1 冊。さみしい夜にはぜひこの本を。続編もおすすめです！(H)



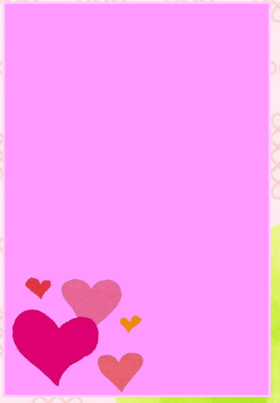
『あなたのための短歌集』
木下　龍也／著
ナナロク社 【 911.1 キ 】

依頼者から届いたお題をもとに歌人・木下龍也が短歌を作成する「あなたのための短歌一首」。そのプロジェクトの中で作成した短歌 100 首を収録した作品集です。右ページにお題（依頼）を、左ページに短歌を載せるという形式で紹介されているので、鑑賞しやすく、短歌に対して敷居の高さを感じている方でも読みやすい 1 冊です。優しく温かい短歌たちは心を柔らかく包んでくれるようで、きっとあなたのお気に入りの作品が見つかるはずですよ。(H)

『くじらだ！』
五味　太郎／作・絵
岩崎書店 【 E ク 】

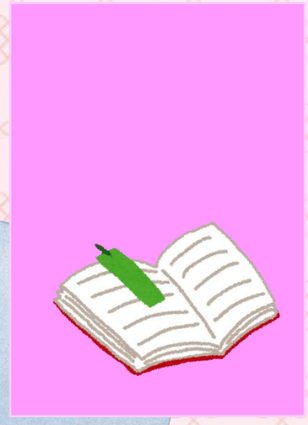
屋根に降り立ったわたりどりが「くじらだぁ！」と騒いだことから、小さな湖の町に騒動が巻き起こる愉快なお話。本物のくじらを見たことがない大人たちは、初めこそ大捜索をしますが、すぐに冷めてしまいます。果たして「くじら」の正体とは…？

この絵本は小学 1 年生の甥に、目の前のことだけでなく広い視野で物事を見て育ってほしいという願いを込めて贈りたい作品です。くじらを見つけた時の爽快感は大人にもおすすめです！(O)



『わたしの美しい娘』
ドナ・ジョー・ナポリ／著
金原　瑞人・桑原　洋子／訳
ポプラ社 【 933.7 ナ 】

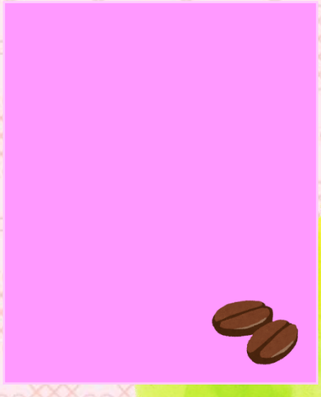
グリム童話の『ラプンツェル』がもとになった物語で、娘のツェルと母親、ツェルと出会い恋をする若者コンラッドの三人の視点から描かれています。愛情と孤独の狭間で揺れる母親や新たな愛の形を知り戸惑うツェル、ツェルを想うあまりに次第に盲目的になっていくコンラッドそれぞれの変わりゆく心情が細やかに丁寧に描写されている点がとても魅力的です。親子の絆や愛のかたちについて考えている人に読んでいただきたい作品です。(N)



『はてしない物語』
ミヒャエル・エンデ／作
上田　真而子・佐藤　真理子／訳
岩波書店 【 943 エ 】

孤独な少年バスチアンが開いた不思議な本。読み進めるにしたがってストーリーと現実が交錯し始めて…！？名作映画「ネバーエンディング・ストーリー」の原作小説です。

小学 2 年生のクリスマスに貰った思い出の一冊。少しづつワクワクしながら読みました。「バスチアンが読んでいる本って、実は自分が今読んでいるこの本なのでは？」「自分もいつか不思議な本に会えるかも？」子どもの想像力を刺激する、プレゼントにおすすめの本です。(S)



『かんばんのないコーヒーや』
かめおか　あきこ／作
ほるぷ出版 【 726.6 カ 】

オオカミくんはふらりと入ったお店で飲んだ「どんぐりコーヒー」の味に感動して、自分でも作りたいと思い何度も挑戦しますが失敗ばかり。そこで、お店のマスターに弟子にしてほしいとお願いすると…。

新しいことを始めたい、今やっていることをもっと極めたい！でも不安…そんな人に贈りたい1冊です。その道を極めるには相当な努力が必要だけど、その先にはきっと大きな喜びが待っている…そう思わせてくれる絵本です。(M)